

根堀台

第21号



由利中学校 学校便り
平成三十年十月九日(火)

発行者 校長 佐々木克也

平成最後の学期が 本日スタート

*ソフトボール部2回戦で敗退

後期始業式式辞

平成三十年度の後期が今日始まります。平成最後の学期になります。

皆さんにとって今学期が実り多き学期になることを心から祈っています。

さて、昨日、私は、家族と十和田湖へ行ってきました。最後に行ってからこれ二十年も行っていません。十和田湖は秋田県側と青森県側に分かれています。秋田県以外の殆どの方は、十和田湖は青森県のものだと思っています。旧小坂町十和田湖畔に乙女の像というのがある、観光として随分華やいています。休み屋エリアにはホテルが建ち並び、ボートなどのアクティビティが充実していて、親子連れや若者であふれかえっていました。

ところが今はどうでしょう。多くのホテルは、閉鎖されて、大きな観光ホテルが細々と営業していました。やっているレストランのメニューにヒメマス定

食二千円と、でかかとかと掲げられていました。ショーケースには、見本が掲示されています。本当に二〇数年前食べた記憶があります。そこに大きな観光バスに十数名の中国人らしい集団やってきました。その集団は、レストランに入りました。彼らは、ヒメマス定食を食べるみたいです。皆さんはヒメマスを焼いただけがメイ

ンの定食に二千円も出しますか？ココスで二千円分喰ったほうがずーっといいんじゃないですか？

また、湖畔には乙女の像があります。是非一度見に行ってください。……

また、小坂鉄道跡地に観て、学んで、体験できるをテーマに、レール遊びが満載できる複合



県ソフトボール大会報告(〇〇さん)

施設。旧小坂鉄道の線路と設備を利用したレールバイクや観光トロッコの乗車体験をはじめ、懐かしさと歴史を感じる蒸気機関車(県指定有形文化財)の展示や、寝台特急「あけぼの」への宿泊体験(開放B寝台車)の車内一般公開など、全国でも珍しく貴重な車両が多数揃い、子どものみならず大人も楽しめるをうたい文句した施設があります。そのレールバイクの乗車券が高くてビックリしました。一度は乗ってもいいのですが、もう乗らなくていいかなというレベルです。大変に失礼な感想ですがそう感じました。

さて由利本荘はどうですか？先日オープンしたナイスアリーナでは、音楽祭が開かれ、連休中に秋田県だけでなく県外からの観客も多数おいでになって大盛況でした。防災公園の施設ということで、百三十五億円の建設費用で由利本荘市は三十億ほどかけただけでできたスポ

ーツ施設です。市民は予約すれば、非常に安い費用で活用できます。メインアリーナの2階部分はランニングできる様になっていて、二時間で大人百十円で利用できます。私たち住民にとっては、素晴らしい財産だと感じています。田舎は生かすも殺すも住民地域の愛情だと思います。では、由利地域はどうですか？本地域は、古い歴史と深い文化に育まれ、時間を刻んできた所です。皆さんは、由利の子としてその深いDNAが備わっています。

皆さんには、学習だけでなく、自分の住んでいる地域の文化財や史跡について、最低一つでもいいので、じまんできるよう研究してもらいたいと思います。そして地域を愛することこそが自分の夢の実現のベースになると思います。地域とつながる生徒になるよう、各種ボランティアやゆりの根教室、駅伝もしっかりやり遂げて下さい。そして何事にも

やり遂げたという状態で新しい年号を迎えましょう。

後期学校経営 最重点施策

開かれた学校づくり
地域との共生を通じたふるさとへの明日を担う子どもを育成を最重点施策として以下のように取り組みます。

- ① 地域の人々と触れ合う活動や地域の施設を積極的に活用した体験活動などを取り入れることで、郷土の自然や風土を愛する心の育成を図る。(ゆりの根教室の充実)
- ② コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会を機能させ、地域の教育力を最大限に学校運営に反映させ地域と行政のさらなる連携を図り、地域に開かれた教育活動への理解と協力を深めるようにする。(第二回学校運営協議会は熟議を行う。駅伝やゆりまつりでの行

政連携強化を図る。)

- ③ 小・中連携を推進して9年間の長いスパンに立った教育活動の工夫と実践を行う。(英語科の菅原先生が由利小と兼任発令となり小学校でも授業を行う。専門監の丹野先生も中学校で授業に参加する)
- ④ 地域やPTAと連携した安全対策・防災教育を推進する。
- ⑤ 同窓会組織の活用や地域との「共催」による学校行事の推進を通して、「ふるさと由利」の一員としての誇りを醸成する。(由利中同窓会東京支部創設五十周年の活動の紹介や同窓会入会記念講演会を充実させる)

以上五点を後期の経営の柱として取り組んでいきます。ご協力お願い致します。(勿論、学力向上が最重点施策であります)

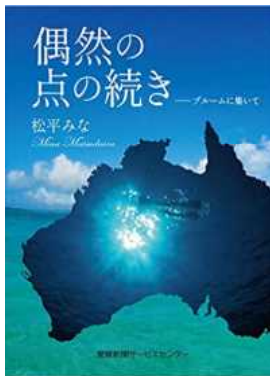
「○○○○」さんが来校されます

平成九年から始まった由利中学生国際交流事業

は、オーストラリアのゴスフォード市での交流でしたがその仲介をして下さったのが現地在住の○○○○さんです。私も、平成十年に生徒引率でお世話になりました。○○○○さんは、由利町を第二のふるさととおっしゃい、来日した際は、由利に立ち寄って下さっています。最初は、由利町との交流が目的だったようですが、中学生のホームステイを提案して下さったのも○○○○さんです。

○○○○さんは、「環太平洋協会」を設立して理事長に就任し、その後生涯理事となつていきます。

現在は、文学者として昨年一月、「穰の一粒」が第三十二回愛媛出版文化賞の文学の奨励賞を授与され、先月、「偶然の点の続き」という著書が出版



されました。素晴らしい活躍です。その○○○○さんが今月二十五日に本校を訪問することが決まりました。簡単な講話をお願いしています。当時、お世話になった方々もご来校下さい。十一時頃から十二時半頃までおいでになります。

校長の独り言

今年もカメムシの時期になりました。カメムシが多い年は雪が多くなるといわれていますが、昨年が良い例です。でも、俗説であつてたまたまみたいです。カメムシは、杉や檜の花粉を好み、花粉の多い年は、大量に育つため、成虫になった秋に大量にみられるというのが科学的根拠みたいですが、でも、今年の春は花粉は大量飛散はしていないのに、カメムシは結構な数で見られます。地震の予兆だと騒ぐ人もいます。やっぱり、カメムシには人間にはない凄い力があるのかもしれないかもしれません。でも臭すぎます！